



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題・スローガン

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYウイズ・Y YMCA・Yユースが相互に、
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

2024年
4月
912号
(77期10号)



4月 西日本区強調活動 RBM

世界の人をマラリアから救うために。RBM 献金を！

川口 恵 地域奉仕・環境事業主査（名古屋）

西宮ワイズメンズクラブ 4月第一例会 ～西宮 YMCA 職員との交流会～

日時：4月26日(金) 受付 18:00 開始 18:30
場所：カクチャーナケ インカント（香櫨園）
ドライバー：廣瀬一雄メン、森川俊介メン

- 1. 開会点鐘 浅野純一会長
- 2. ワイズソング 一同
- 3. 聖句朗読 森川俊介メン
- 4. ゲスト紹介 浅野純一会長
- 5. 食前感謝 森川俊介メン
- 6. 食事 お料理をお楽しみください
- 7. ミュージック
- 8. ゲストショートスピーチ
- 9. 職員紹介
- 10. お誕生日のお祝い 浅野純一会長
- 11. ワイズニュース 浅野純一会長
- 12. YMCA ニュース 森川俊介担当主事
- 13. 閉会点鐘 浅野純一会長

4月誕生日のお祝い

- 10日 濱浩一メン
- 12日 丸山悦治メン
- 24日 足立完子メネット

今月の聖句

「平和を造る人々は幸いである。」

マタイによる福音書 5章9節
(聖書協会共同訳)
2024年度神戸 YMCA 年間聖句

3月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (8金)		第二例会 (22金)	
メン	10名	メン	10名
メネット	0名	メネット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	0名
MU	3名	計	10名
合計	13名	出席率	61.9%

ファンド

	3月	累計
ニコニコ	¥2000	¥19,200
BF	¥2,900	¥19,900

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸
 書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介
 Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

会長メッセージ

会長 浅野 純一

3月後半になり、寒い日々が続きましたが、月末になりようやく本来の春らしい陽気になってきました。今年は暖冬で桜の開花も早いのではと思っていましたが、近ごろの寒さで全国的に開花は遅れているようで、お花見はもう少し先になりそうです。



さて、3月6日に兵庫県民会館で行われた、神戸YMCA 学院専門学校とコミュニケーション学院合同の日本語スピーチコンテストを見学しました。両校併せて20名の日本語を学ぶ外国の若者が登場して思いを語りました。出場者の出身地別ではヨーロッパ6名(イタリア・ドイツ・ハンガリー)、アジア10名(ミャンマー・中国・台湾・韓国・ベトナム)、南米2名(ブラジル・ペルー)です。YMCA学院に限ればミャンマーが5名と多いのですが、現地のエージェンシー(代理業)との繋がりに困るとのこと、とくに軍事政権成立後のここ数年増加しています。

スピーチ内容は、日本の良いところ或いは不思議なところ、そして母国と日本の文化の違いに戸惑ながらも元気に学んでいこうとする意欲を語ってくれました。そのなかで、ブラジルのダッサン君の「サンバについて、本来のサンバはブラジル人しかわからない。サンバは悲しい気持ちを表すもの、悲しみを元気に伝えようとするもの」との話に、サンバはラテンとアフリカの音楽が融合された、いかにも陽気でアクティブなものと私は思っていたのですが、大いに勉強させられました。

全国的には日本語を学べる教育施設は郡部を中心に不足していますが、神戸にはYMCAなどいくつかの日本語学校があります。そこでの年間授業料はいずれも約80万円で、そのうえ滞在費も要ります。そのような多額の費用にもかかわらず日本に来て日本語を習得しようとする若者が多数いることに驚きで、YMCAもコロナ禍に苦しんでいます。日本語学校の生徒数の回復は最も早いとのこと。日本では先月末、1ドル=152円という33年ぶりの円安値を付けました。輸出関連企業には良いこ

とですが、日常生活においては物価高を招いています。

日本では企業がかなり負担する社会保険制度があり、賃金という概念で測るのは難しいのですが、日本の近くをみれば、円安の影響もあり、オーストラリアより劣り、韓国とも同等の水準になり、外国人労働者の「日本離れ」が指摘されています。そのようななかでも日本語を学ぶ若者が多くいることを大切に考えなければと思います。芦屋クラブは日本語を学ぶ彼らのための歓迎会を毎年開いてられるとのことですが有意義と思います。

日本は少子高齢化で人手不足がいられています。いま約320万人の在留外国人の方がいます。10年前は206万人でした。これまで日本は外国人労働者の受け入れについては技能実習制度が中心で、建前では技能を身に付けて母国に帰国してから、母国の発展に役立ててもらおうという国際貢献の制度ですが、行き詰まっています。今後は技能実習制度を廃止し、政府は育成就労制度を創設するための関連法案を国会に提出しています。すでに数年前から人手不足を補う制度として、特定外国人技能労働者が創設され、いくつかの業種で取り入れられています。それは家族を含めた永住者受け入れの道を開くものです。日本も移民の受け入れ国に舵を切り替えようとしています。

ところで、外国人移住者をめぐるトラブルが少なからず発生しています。埼玉県や群馬県などで団地のゴミ出しや騒音をめぐって、また大分県では別府市北部の日出(ひじ)町でイスラム教徒の土葬問題があります。日本国籍を取得した立命館アジア太平洋大学のパキスタン出身の教授が土地を購入し、イスラム教徒専用の墓地を作りました。その地は水源に当り、地元民が反発しましたが、昨(2023)年5月、ようやく立地協定が締結され、一定の条件のもとに墓地を受け入れることになりました。「共生社会」とか「多様化」という用語が氾濫しています。いま、移民受け入れという重大問題を考えなければなりません。こんなときに国会は政治資金の問題で混乱しています。残念なことです。

3月例会報告

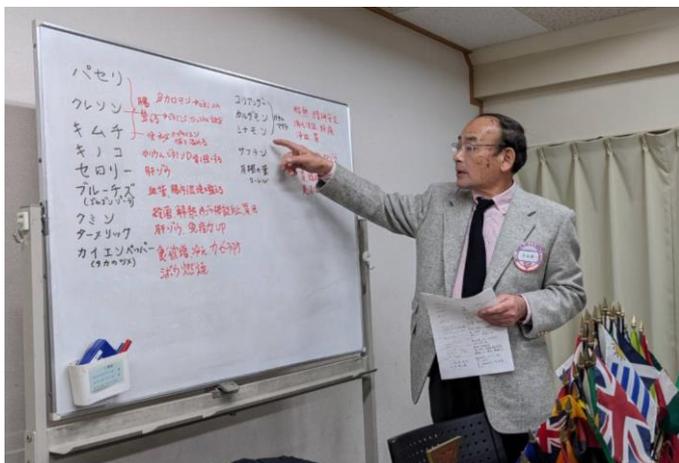
重村 仁

3月8日(金) 19:00~20:40 参加者 11名
浅野会長の挨拶で始まりました、元気にワイズソングを歌い、藤原メンの聖句朗読。

今回のスピーチは万本敬一メン、「私のフレイル予防(食事・筋力維持)」です。近年「フレイル」を耳にすることが多くなりました。誰もが望む健康長寿のキーワードです。この意義を理解しますと、元気に健康的な生活を維持することが出来ると言われています。



そんな中万本メンの話は、食べ物で予防対策が出来る、腸内の善玉菌の減少から、免疫力が低下し便秘にも繋がる。免疫力UPの野菜を食べる、野菜にはそれぞれの特徴があり、如何に料理で使うかと強調されていました。



パセリ・クレソン・キムチ・キノコは腸内を整える。セロリーは肝臓によい。ブルーチーズ(村の名前)

は血管、腸内環境を整える。クミンは殺菌、解熱内臓機能向上。ターメリックは肝臓免疫力UP。カイエンペッパー(香辛料)・タカノツメは食欲増・冷え、風邪予防。コリアンダー・カルモダン・シナモンは解熱、精神安定、鎮痛など。サフラン・月桂樹の葉は精神安定他。料理学校の先生顔負けの博学でした。各野菜の特徴を細かく講義されました。料理の出来ない私など「そうなんですか そうか?」の連発でした。



誕生日のお祝いは、万本メン、森川加奈子メネット、藤原俊夫氏3名です。ワイズニュース浅野会長、YMCA ス森川担当主事報告。

第二回 六甲部評議会

山口 吉郎



3月16日(土)15時より神戸YMCAチャペルにて第二回六甲部評議会が開催された。全会員123名の1/3以上である45名が参加し評議会は成立。西宮からは浅野、小野、濱、濱崎、森川、山口、山本各メン7名が出席しました。

部長、会計、主査・委員長、会長の間接報告のあと1～4号の議案提案に関する協議が行われた。

1号議案（次々期部長に柳メン）、2号議案（理事支援）、3号議案（委任状の承認）が承認され、4号議案（成立要件を構成員の1/4に緩和）は取下げとなった。尚3号議案について、今後委任状の書式につき改定に向け部則細則を詰めることとなった。閉会后、中華料理店ヤッチャイにて懇親会が持たれた。



YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

いよいよ新しい年度を迎えました。2024年度の神戸 YMCA 年間聖句は平和を造る人々は幸いである。」（マタイによる福音書 5 章 9 節(聖書協会共同訳)）が選ばれました。神戸 YMCA 役員や職員から候補となる聖句が寄せられ、ミッション委員会において協議をしていただき、年間聖句が決まりました。

昨年に引き続き「平和」についての聖句を選ぶか、それ以外の聖句を選ぶのかという話し合いがあり、ロシア・ウクライナの戦争に加え、イスラエルとハマスの武力紛争も始まったこと、平和には心の平和（平安）も含められることなどから、今年度も「平和」についての聖句の中から選ぶことになりました。

候補には新共同訳の「平和を実現する人々は、幸いである。」と「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」もありましたが、年間聖句はさまざまな場所で語られることもあるため、「実現する」という子どもにとって難しいこと

よりも、聖書協会共同訳の“造る”ということばのほうが聞いてよりわかりやすいということからこの聖句に決めました。

私たち一人ひとりが相手を思いやり、ひとりひとりが平和を造り、互に支え合うことの必要があるということを感じます。

1. 西宮 YMCA ニュース（森川俊介）

育成センターでは今年も3センターで100名を超える3年生が卒所していきました。

4月からは育成センターを離れて、放課後の時間をちいきですごしていくこととなります。できないことにもチャレンジする力、周りの人と一緒に協力する力、みんなで楽しむことなど育成センターで過ごす中で得た力や経験、そして共に過ごした仲間とのつながりも大事に力強く過ごして行ってほしいと思います。

4月1日からは1・2年生は一つ学年があがり、新しい仲間を迎えます。新1年生は小学校の入学前にまず育成センターでの生活が始まります。新年度も子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、個性を認め合い、力を発揮できるそんな育成センターにしていきたいと思っています。



2. 今後の予定

神戸 YMCA 創立 138 周年記念礼拝、神戸 YMCA 大会（総会）を以下のように行います。詳細は改めてお知らせさせていただきます。

(1) 創立記念礼拝

日時：5月11日（土）

場所：神戸 YMCA 三宮会館チャペル

(2) 神戸 YMCA 大会（総会）

日時：6月22日（土）

場所：神戸 YMCA 三宮会館チャペル

神戸・王子動物園

重村 仁



2年前4月3日神戸新聞記事で「昭和レトロに華やぎ 神戸・王子動物園」が紹介されました。絵はその時の写真です。約480本のソメイヨシノに覆われた動物園。園内の遊具は昭和の懐かしさがあると紹介されていました。神戸市は今この動物園を含めて、公園再整備計画を出しています。元々関西学院があり昭和4年神戸市の土地となりました。戦後昭和25年神戸博が開催され、翌年昭和26年3月31日諏訪山動物園から移転してきて王子動物園が開園しました。

私の小学一年生の春の遠足が動物園でした。今もよく当時の風景を覚えています。元原田の森でしたから、木々が多く桜も戦前から多く咲いていたようです。神戸市はこの土地を売らず今日まで維持してきました。この王子は文教地区でもあり、原田の森美術館（元県立美術館）、南西角には神戸文学観（元関学チャペル）・王子体育館・プール・弓道場・テニス（バレー）コート・王子競技場・サブトラック・相撲土俵・ハンター邸など、文化の漂う地域です。その地に480本の桜が色を添えます。桜と共に80年、開花が遅くなりましたが4月に入り一気に開花し春爛漫を迎えます。観覧車に乗れば東西南北、街が一望出来ます。是非訪れてみてください。

ワイズニュース [今後の予定]

4月12日(金)午後7時～8時30分 第二例会

4月12日(金)メネット会 午後2時～4時

神戸YMCAチャペルとフロイドリーブカフェ

講師 宮田泰子(神戸西クラブ特別メネットYWCA

元職員)

テーマ「YMCAとYWCAに属して思う事」

※参加希望者は4月5日までに浅野まで

会費1,000円

4月13日(土)-14日(日)西日本区第3回役員会、

次期第1回準備役員会(小野次期部長出席)

4月26日(金)第一例会 職員慰労会兼送別歓迎会

ドライバー:廣瀬メン、森川メン

4月22日(月)午後6時30分～神戸YMCA会館

24-25年度西日本区大会実行委員会

4月27日(土)チャリティコンサート 神戸聖愛教会

会費:2000円 神戸ポート主催

6月8日(土)西日本区大会 名古屋公会堂

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋

登録費22,000円 申込締切4月20日(土)

※個人申込

8月8日(木)～11日(日)国際大会、

タイのチェンナイで開催 登録費:420ドル

編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★4月に入り桜の開花ラッシュ★近くの公園は一面のブルーシートで縄張り陣取★世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし★「附與櫻花奏九天」は重村メンのお好きな漢詩の落句★花見とともにスギからヒノキに代わって花粉飛散★さらにタクラマカン辺りからのChaina Dustが舞い降ります★しかし新年度というだけでなんだか身の引き締まる思いがします!★



オキザリス
イエロー